

外国語活動

➡ 1～6年生 | 「子どもにも教師にも支援になる教室整備」

外国語活動をしやすい環境整備とは

1. はじめに

大阪府吹田市では文科省の教育課程特例校の指定を受け、1年生から外国語活動を行っている。今回は本校の外国語活動の指導を円滑に行うために行った環境整備について紹介する。

2. 本校の外国語活動における整備

① English Room の整備

本校では外国語活動のために English Room という特別教室を設置している。

まず、教室の床にはアルファベットのブロックマットを敷いている。低学年の児童から視覚的にアルファベットを認識させるとともに、様々なアクティビティの際に活用している。

また、机は角の丸い小さなテーブルを班ごとに1つ設置している。テーブルは、活動によって使ったり、よけて場所を広げたりと、教室を柔軟に使うことができる良さがある。

次に、教室掲示についてである。後方に「声かけ例」の掲示物があり、子どもたちの活動を視覚的に支援することができる。教師も、それを見ながら、子どもたちへ指導できる良さがある。



アルファベットマット
角の丸いテーブル

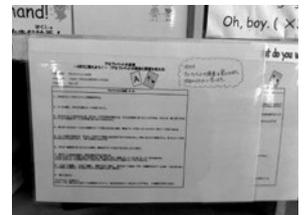
教室後方には声かけ例の掲示が貼られている。



教室の後ろの棚には、指導内容ごとに分類された教材と教具がまとめられている。棚にはその教材・教具を用いた指導案も用意して、教材研究を容易にする工夫も行っている。この指導案は、中学校の英語担当の教員とともに、作成したものである。



▲教材・教具がまとめられた棚



② ICT 教材・教具の整備

本市ではタブレット型パソコンが導入されており、外国語活動の重要な教具の一つとなっている。



▲プロジェクタとスクリーンシート

English Room でも、プロジェクタやスクリーンシートを常設することで、視覚的な支援により、分かりやすい授業を行うことができる。また授業前の準備時間を短くすることができる。

③ 朝・昼の英語放送

本校では、朝・昼に英語放送を行っている。あいさつや給食についての英語での放送や、子どもたちに身近な英語の曲を放送するなど、英語を身近に感じる環境を整備している。

3. おわりに

外国語活動に対しては難しさを感じることも多い。しかし、環境の整備や教師間の協力によって格段に指導が行いやすくなった。今後も最適な指導ができるよう研究を行いたい。